

論点資料補足資料

(探究的な学びの充実に係る関係資料等)

探究的な学びの分類について

- Banchi,H., & Bell,R. (2008) は、教師から与えられる問、手続き、解法の提供範囲に応じて探究学習を複数のレベルに分類している
- レベル 1、2 の探究は各教科で実施されることが多く、より高度な探究と往還しあうことが重要とされる

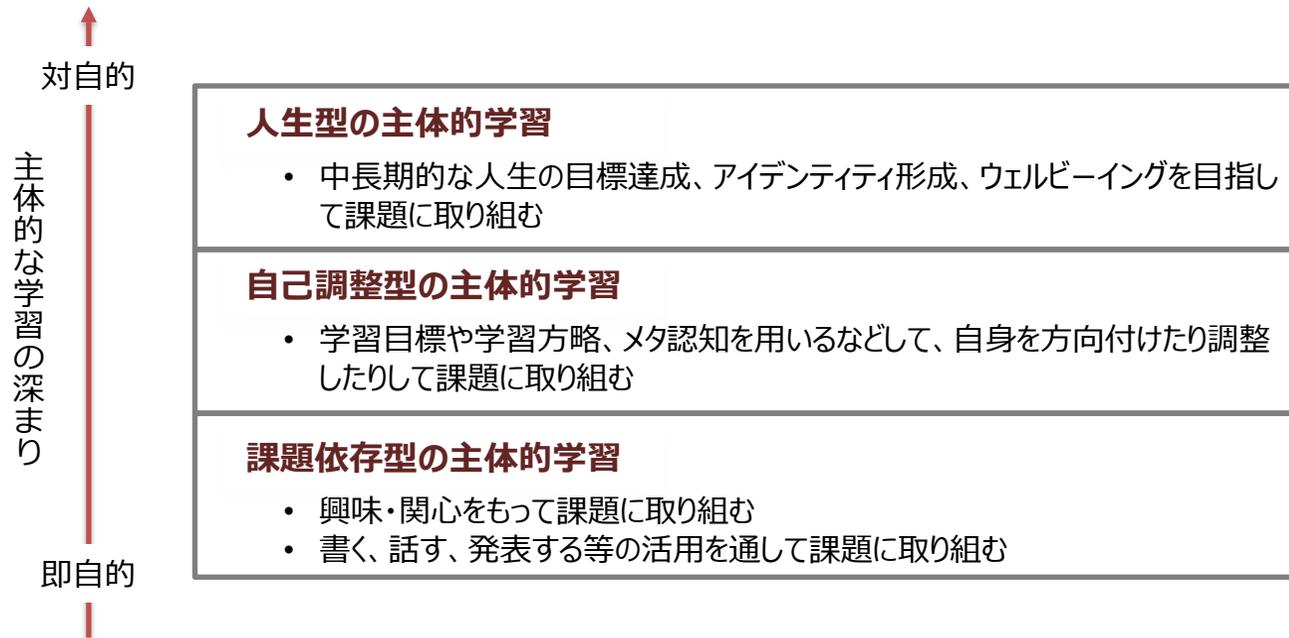
	各教科の時間	総合的な学習（探究）の時間	教師から与えられる		
			問い	手続き	解法
レベル 4	オープンな探究 (open inquiry) ・ 生徒が自分でデザインまたは選択した手続きを用いて、生徒自らが立てた問いについて調査する		—	—	—
	指導された探究 (guided inquiry) ・ 生徒が自分でデザインまたは選択した手続きを用いて、教師が示した問いについて実験する		○	—	—
	構造化された探究 (Structured inquiry) ・ 与えられた手続きにしたがって、教師が示した問について実験する		○	○	—
レベル 1	確認のための探究 (Confirmation inquiry) ・ 前もって結果が分かっている場合に、活動を通じて原理を確認する		○	○	○

主体的な学習のスペクトラムについて

- ・ 溝上慎一氏の著書では、「主体的な学習（ agentic learning ）」を「行為者（主体）が課題（客体）にすすんで働きかけて取り込まれる学習のこと」と定義した上で、その性質を「課題依存型の主体的学習」、「自己調整型の主体的学習」、「人生型の主体的学習」の3つに分類する（「主体的な学習スペクトラム」）
- ・ 学習課題に促され主体的が発動される学習から、自身の学習目標や学習方略を使用する主体的学習、中長期的な目標達成やアイデンティティ形成・ウェルビーイングを目指した学習へと深まっていくことが示されている

溝上慎一「アクティブラーニング型授業の基本形と生徒の身体性」

「主体的な学習スペクトラム」



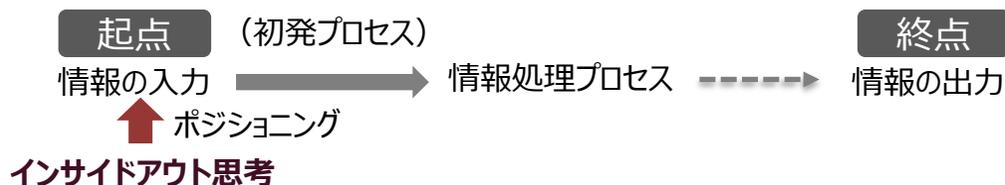
- 溝上慎一氏は、終点がある程度見定められたところで押し進められる思考様式「アウトサイドイン思考」に対して、終点の一つに定まらない中で進められる思考を「インサイドアウト思考」と定義している。
- 「インサイドアウト思考」は「原初的な創造的思考」の特徴を持ち、一般の人びとが日常で普通に行う思考であり、個性的な学習やライフを構築していく基礎となると指摘している。

溝上慎一「インサイドアウト思考 創造的な思考から個性的な学習・ライフの構築へ」

「インサイドアウト思考 (inside-out thinking)」

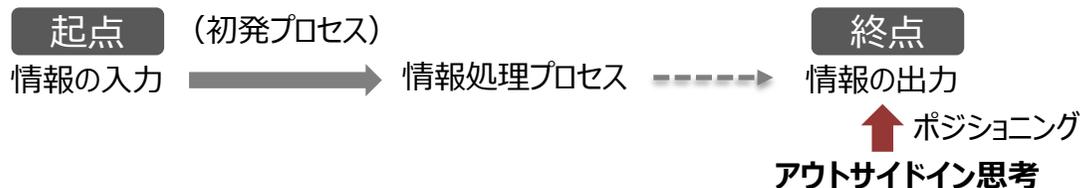
入力された情報（情報処理の起点）にポジショニングをして、そこからある情報を生み出す情報処理の初発プロセスを問題とする思考様式である」と定義

- どこに向かっているか、どのような情報を入力するかはわからない中で進められるものである
- インサイドアウト思考は終点としての結果が見えない中でなされるものであることから、それによって作り出された考えは、ゆるやかに「新しい考え」であるとみなすことができる。～（中略）それは「創造的思考 (creative thinking)」の概念に接近する。インサイドアウト思考は思考論の原点であるのみならず、思考論それ自体の持つ原初的な創造的思考の特徴を併せ持つものといえることにもなる
- 原初的な創造的思考の特徴をインサイドアウト思考に付与する理由の一つは、～（中略）一般の人びとが日常で普通に行う思考として捉えたい



「アウトサイドイン思考 (outside-in thinking)」

「出力された情報、あるいは情報処理の途中であってもそこまで押し進められた情報（情報処理の終点）にポジショニングをして、起点から終点に至るプロセスを問題とする思考様式である」と定義



主体性の目標分類（タキノミー）について

表. 「主体性」のタキノミー（学びへの関与と所有権の拡大のグラデーション）
 （出典：石井英真『中学校・高等学校 授業が変わる学習評価深化論』図書文化、2023年）

特別活動	自治（変革人：エージェンシー）	社会関係を創りかえる
		対象世界を創りかえる
総合学習	人間的成熟（なりたい自分：アイデンティティ）	軸（思想）の形成
		視座の高まり
教科学習	自律（探究人：こだわり）	自分事の間いの深化
		間いの生成
教科学習	学び超え（生涯学習者・独立的学習者）	思考の習慣（知的性向）
		関心の広がり
教科学習	学習態度（自己調整学習者・知的な初心者）	方略的工夫
		試行錯誤
教科学習	関心・意欲	積極性（内発的動機づけ）
	表面的参加	受身（外発的動機づけ）



探究的な学びと児童生徒のメタ認知方略等との関連

- 国内外の調査では、探究学習が児童生徒の自律的学習動機、メタ認知方略、創造的思考といった非認知能力と関連があることが示されている

動機付けやメタ認知方略との関連（国内）

- 地域や学校規模に配慮したうえで、国公立小学校に在籍する5年生から6年生の児童718名を対象に事前調査と事後調査を実施、SL（サービスラーニング）型総合的学習*と非認知能力との関連を調査

- 自覚的にSL型総合的学習に取り組んだ児童生徒と、そうではない児童生徒間では、メタ認知方略、自己効力感、動機付け（自律的学習動機）、動機付け（期待価値）の非認知能力に有意な差があった
- 自覚的にSL型総合的学習に取り組んだ児童生徒は、そうではない児童生徒と比較して動機付け（期待価値）やメタ認知方略に係る非認知能力が有意に上昇

* (a) プログラムをアカデミックなカリキュラムや体系的カリキュラムやそれらの目標と関連付ける、(b) 若者の声を取り入れる、(c) コミュニティ・パートナーを関与させる、(d) リフレクションの機会を提供する、の4つの要素を含む学習

(出典) 加藤智「初等教育におけるサービス・ラーニング型総合的な学習の時間が育成する非認知的スキルに関する研究」(2022) 日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要/38

創造的思考との関連（国外）

- 科学分野の探究型アプローチ（Inquiry-Based Approach）学習と従来型の学習双方を受けた初等中等教育段階の児童生徒1,349名（レバノン・マレーシア・タイ・インドネシア・台湾等）を対象に、探究型アプローチ学習と非認知能力との関連を調査

- 探究型アプローチ学習は、初等教育段階、中等教育段階いずれにおいても、従来型の学習と比較して児童生徒の論理的思考、創造的思考、批判的思考、問題解決力等に関連がある点が示された

(出典) Antonio, R.P. & Prudente M.S. (2024). Effects of inquiry-based approaches on students' higher-order thinking skills in science: A meta-analysis. International Journal of Education in Mathematics, Science, and Technology (IJEMST), 12(1), 251-281.

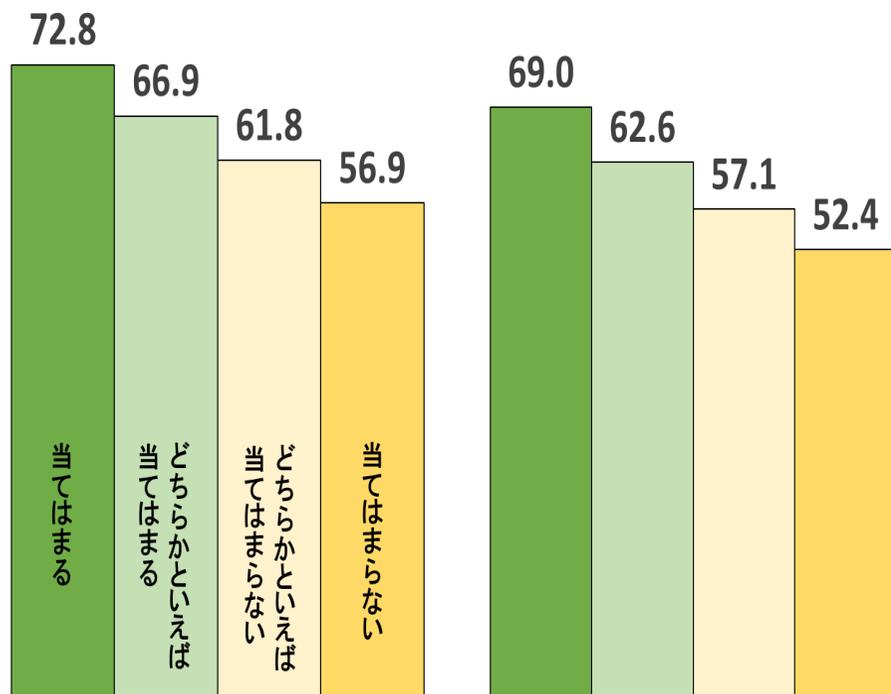
「探究的な学び」に取り組む児童生徒は、「平均正答率」が高い傾向

小学校

国語

算数

正答率



中学校

国語

数学



総合で探究的に学んでいる

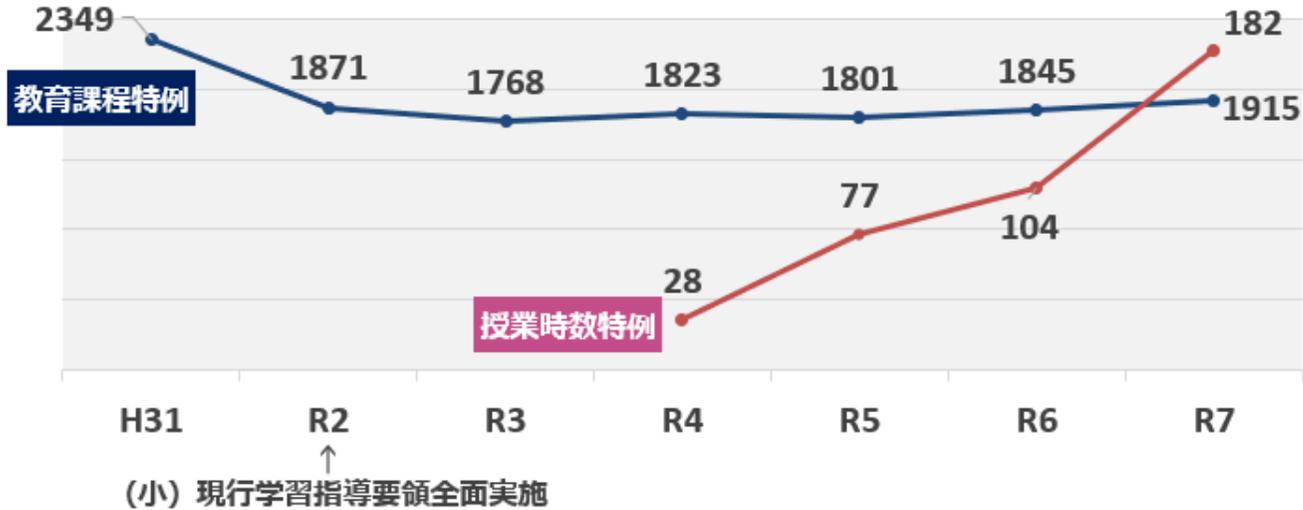
「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」

※傾向とは、事実関係を記述したものであり、因果関係を示すものではない。

教育課程特例校・授業時数特例校の状況

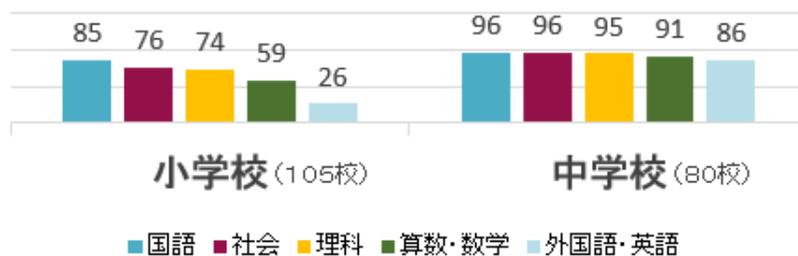
授業時数特例校においては、総合の時数を増やしている学校が9割以上

指定校数の推移

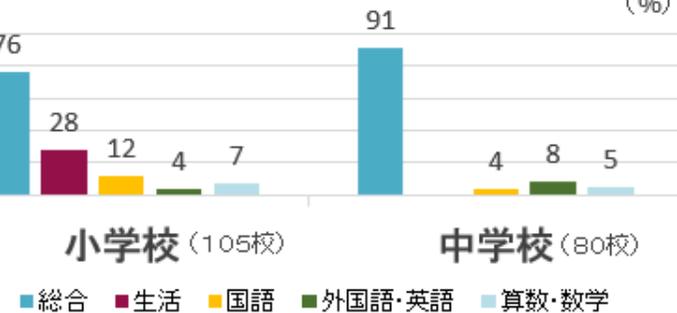


授業時数特例校における取組状況

各教科の時数を減じている学校の割合 (%)



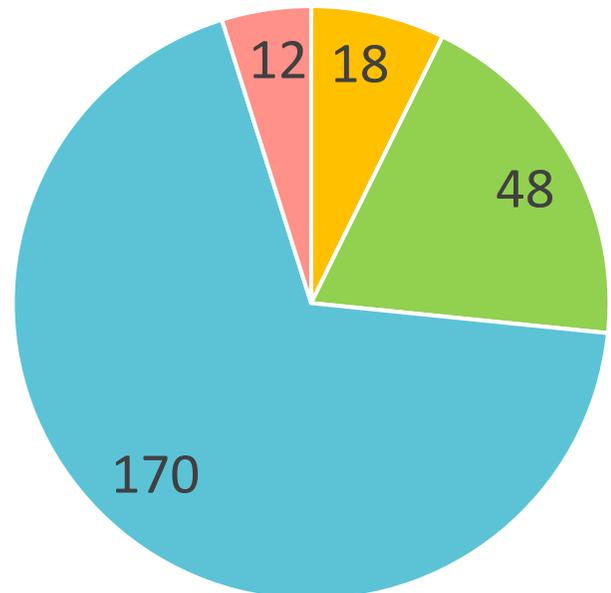
各教科の時数を増やしている学校の割合 (%)



文部科学省における「探究」に係るイベントの調査の実施

- 都道府県等教育委員会が主催する「探究」に係るイベントについて、令和6年8～9月に調査を実施
- 調査結果は、文部科学省後援の民間主催のイベントと併せて、ホームページに一覧を公開

掲載件数：248件



- 民間団体
- 大学等
- 都道府県又は指定都市教育委員会
- 府省庁(所管法人含む)

(掲載内容：名称、概要、対象など)

No.	イベント名称	主催者	開催時期	対象	概要	申込方法	問い合わせ先
1	探究 2024 Q1～Q2	民間団体	2024年10月～2025年3月	中学生	探究活動を通じて社会課題を解決する力を育てる。探究活動を通じて社会課題を解決する力を育てる。	オンライン	民間団体
2	探究 STEAM JAPAN AWARD	民間団体	2024年10月～2025年3月	小学生～中学生	STEAM教育を通じて探究活動の力を育てる。探究活動を通じて社会課題を解決する力を育てる。	オンライン	民間団体
3	探究 2024 Q3～Q4	民間団体	2024年10月～2025年3月	小学生～中学生	探究活動を通じて社会課題を解決する力を育てる。探究活動を通じて社会課題を解決する力を育てる。	オンライン	民間団体
4	探究 2024 Q1～Q2	民間団体	2024年10月～2025年3月	小学生～中学生	探究活動を通じて社会課題を解決する力を育てる。探究活動を通じて社会課題を解決する力を育てる。	オンライン	民間団体
5	探究 2024 Q3～Q4	民間団体	2024年10月～2025年3月	小学生～中学生	探究活動を通じて社会課題を解決する力を育てる。探究活動を通じて社会課題を解決する力を育てる。	オンライン	民間団体
6	探究 2024 Q1～Q2	民間団体	2024年10月～2025年3月	小学生～中学生	探究活動を通じて社会課題を解決する力を育てる。探究活動を通じて社会課題を解決する力を育てる。	オンライン	民間団体



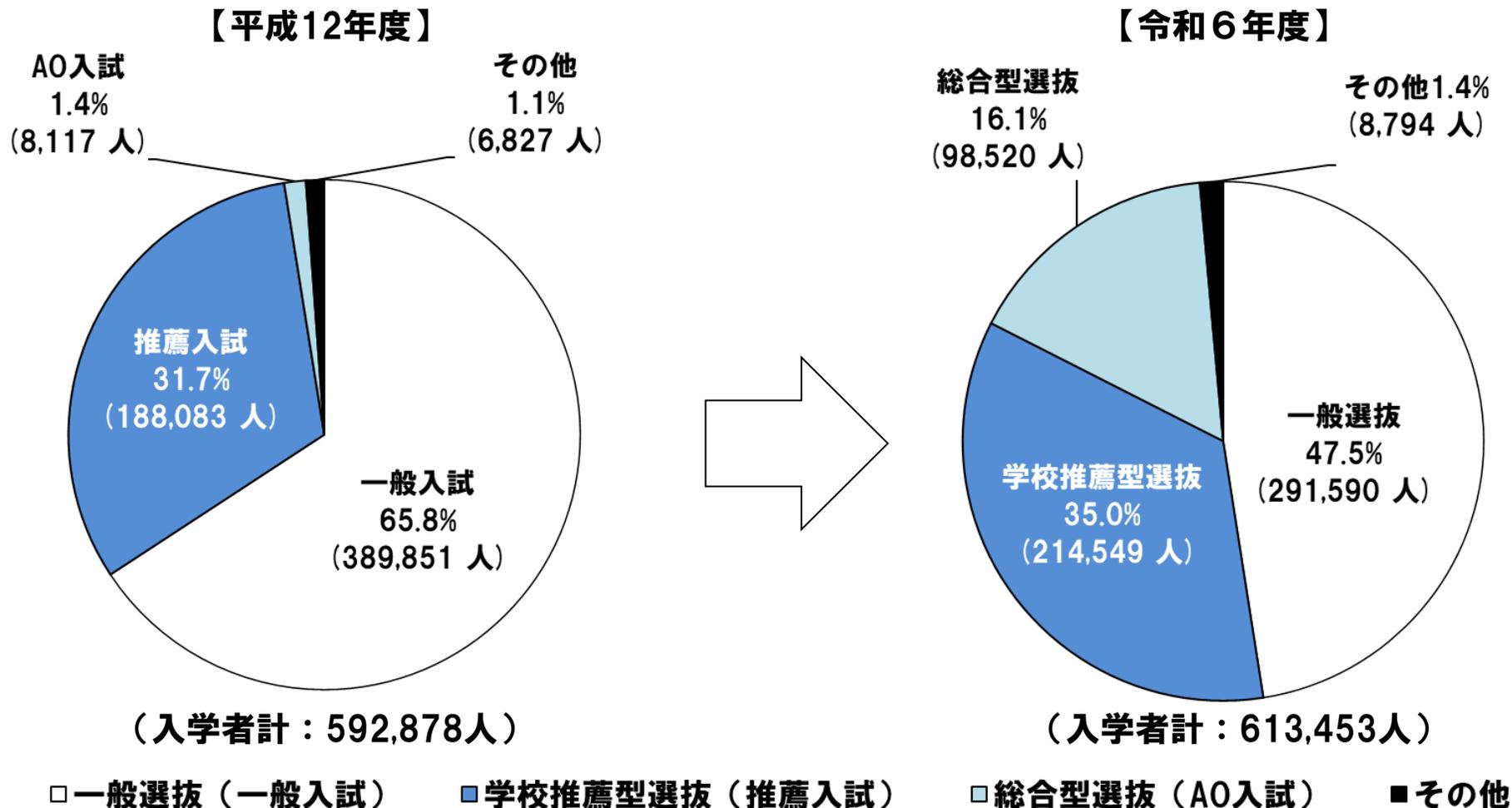
リンク先

文部科学省後援の民間探究イベントの例

イベント名	主催	対象	リンク先
SDG s 探究AWARDS	一般社団法人 未来教育推進機構	中学生 高校生	
STEAM JAPAN AWARD	STEAM JAPAN	中学生 高校生	
SDG s QUEST みらい甲子園	SDGs QUEST みらい甲子園事務局	高校生	
Q-1 ～U-18が未来を変える★研究発表SHOW～	朝日放送テレビ	高校生	
高校生Ring	リクルート	高校生	
創造力、無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ	日本政策金融公庫	高校生	

大学入試の変化について

平成12年度(AO入試調査開始年度)に比べて、総合型選抜、学校推薦型選抜を経由した入学者が大きく増加しており、入試方法の多様化が進んでいる。



(注) 「その他」(平成12年度)：専門高校・総合学科卒業生入試、社会人入試、帰国子女・中国引揚者等子女入試など
 「その他」(令和6年度)：専門学科・総合学科卒業生選抜、社会人選抜、帰国生徒・中国引揚者等生徒選抜及びその他選抜

高校入試の変化について

「高校教育の改革」「公立高校入試倍率の低下」等を背景に、各自治体が公立高校の入試改革を進めている。

広島県 2023年度～

- 推薦入試を廃止し、一般選抜に一本化
- 自己表現(自己表現カード+面接)を必須に
- 学力検査:調査書:自己表現=6:2:2
- 各学校独自の「特色枠」を設定可に(定員の50%以内)

愛知県 2023年度～

- 「特色選抜」を導入。(面接+作文 基礎学力検査 プレゼンテーション 実技検査 から1つ で選抜)
- 複数校志望制を導入。Aグループ、Bグループからそれぞれ第一志望、第二志望を選択。
- 面接の有無は各学校ごとに判断

大阪府 2026年度～

- ボランティア、探究活動、起業、クラブ活動などを重点的に評価する「特色枠」を新設
- 複数校志望制を導入。第一志望を不合格になっても、第二志望の選抜を受けられる。
- 入試日程の3月→2月への前倒し

埼玉県 2027年度～

- 自己評価資料の提出と面接をすべての受験生に求める
- 共通選抜(旧来の一般選抜)に加え、各高校の判断で「特別選抜」を実施できるようにする(学力検査・調査書・面接に加え、実技検査・小論文等の実施や学力検査等の傾斜配点を行うことができる)

全国的な趨勢としては「面接重視」「ペーパーテスト以外の評価重視」の方向。一方で、神奈川県のように従来必須としてきた面接をとりやめる動きもある(背景に面接の形骸化/学校ごとの取り扱いの格差)

(出所)小村俊平ベネッセHD経営企画推進本部長 発表資料をもとに作成

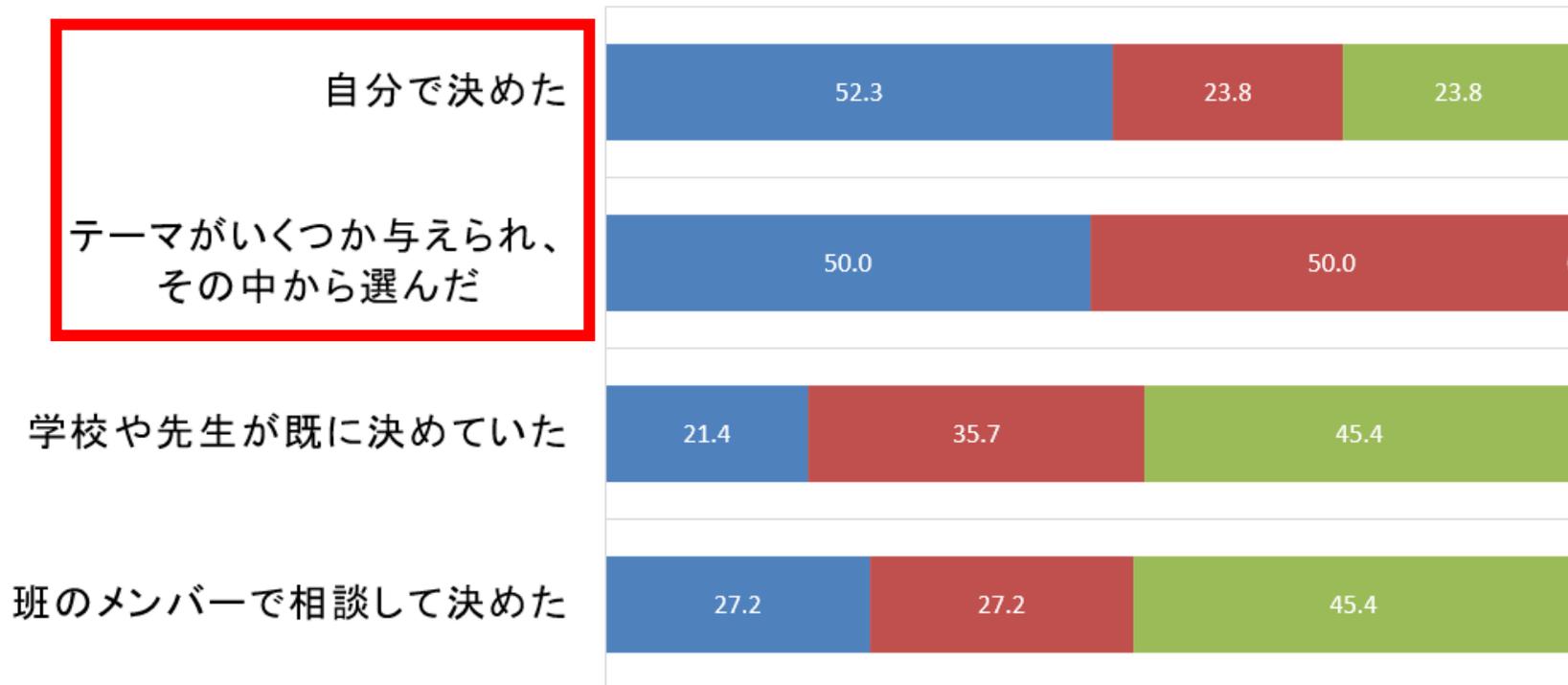
探究テーマの設定とキャリア観の関係

探究テーマを自分で決めた・選んだ場合に、
探究活動が将来のキャリア形成により大きな影響を与えるとの調査結果

テーマの決め方とキャリア観の関係

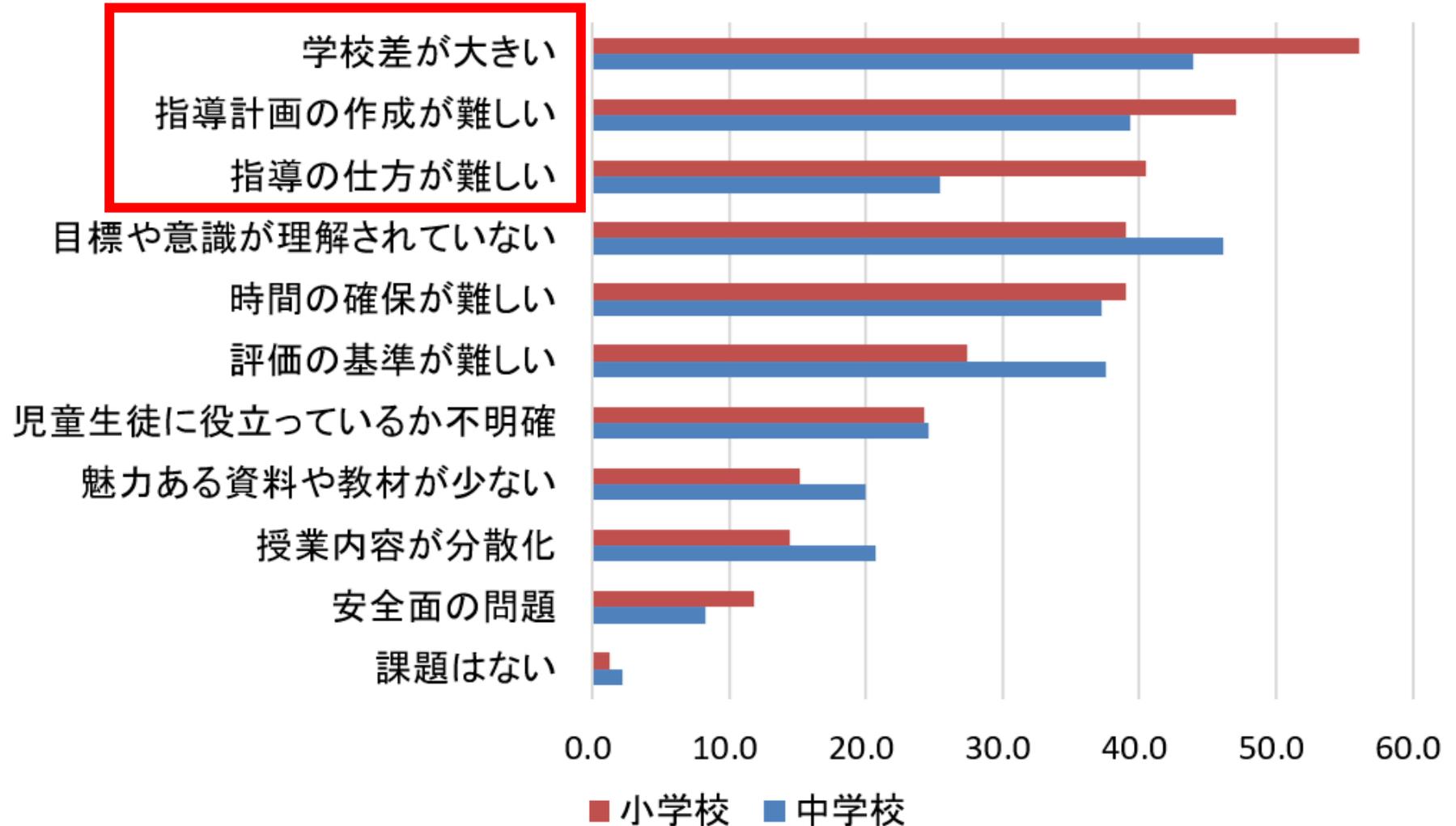
【質問】 探究活動が将来のキャリア選択に影響を与えましたか？

■ はい ■ いいえ ■ わからない



総合的な学習の時間に関する課題（小中学校教員）

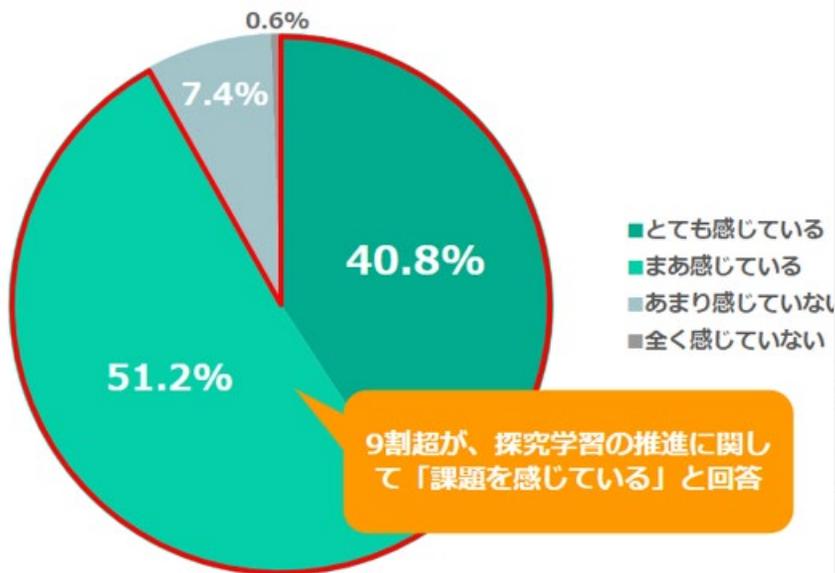
学校差が大きい、指導計画の作成が難しい、指導の仕方が難しい等の課題感があるとの調査結果



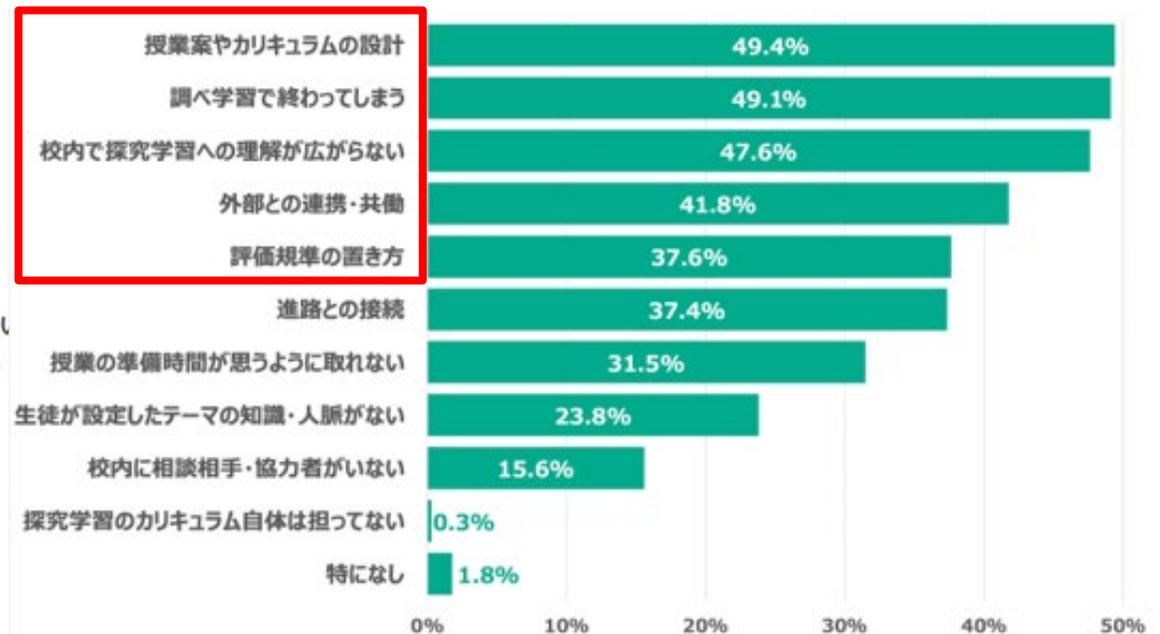
総合的な学習の時間に関する課題（高校教員）

探究に関わる高校教員の9割超が「課題を感じている」と回答し、特にカリキュラムの設計や、調べ学習で終わってしまう等の課題があるとの調査結果

探究学習の推進について、どの程度課題を感じていますか？



探究学習の推進について、特に課題だと感じるのはどのようなことですか？



(出典) 特定非営利活動法人カタリバによる調査結果2023

(対象: 生徒たちの探究学習をサポートしている高校教員340名)

総合的な学習の時間に関する課題（高校教員）

テーマ設定に関して、「ものづくり」「資源エネルギー」「科学技術」など、サイエンスに関するものが少ないとの調査結果

探究学習の授業でよく取り扱うテーマ（中高別）

